



4 議 第 1 3 1 4 号
令和4年11月15日

亀岡市長 桂川 孝裕 様

亀岡市議会環境市民厚生常任委員会
委員長 長澤 満

ごみ収集車両の火災事故に伴う新規車両の確保を求める提言

本市は、人と時代に選ばれるリーディングシティとして、プラスチックごみをはじめとする、廃棄物を出さない循環型社会や、エネルギーの地産地消による脱炭素社会の実現、生物多様性の保全、自然と共生するエコ農業の普及など、地球にやさしい環境先進都市づくりに取り組まれています。これらの取組の中でも、ごみの収集・処理は、市民生活の基盤となる必要不可欠な社会インフラであることから、安定的に運用する必要があります。

本年10月5日に、千代川町において、埋め立てごみを収集しているパッカー車から、不適正な廃棄物が原因と思われる火災が発生し、消火活動のため同車の荷室側面を切開しており、車両の復旧が困難な状況となりました。現状では、市民生活に影響がないよう、予備車両を活用して引き続きごみ収集業務を行っていただけますが、今後の車両トラブルに対応可能な予備車両はなく、状況によっては、ごみ収集業務に支障をもたらすおそれがあります。

誰もが住み続けたいと思える持続可能なまちづくりに向け、適正な分別について、より一層の市民意識の啓発を図るとともに、良好な暮らしの環境や安全・安心の確保、定住・交流の促進など、あらゆる分野で次の時代を見据え、人に選ばれるまちを目指す亀岡市として、市民生活に直結するごみの収集・処理の安定的な運用を行うため、環境市民厚生常任委員会として、下記のとおり提言いたします。

記

- 1 当該車両は、平成21年度に登録されたものであるため、老朽化が進んでおり、さらに、今回の事故に伴う破損状況からも、修繕には多額の費用を要することが想定されることから、新たなパッカー車を調達されたい。
- 2 パッカー車には特別装備が必要で、発注から納品までに時間を要することから、市民生活に影響がないよう、早急に予算措置を講じられたい。